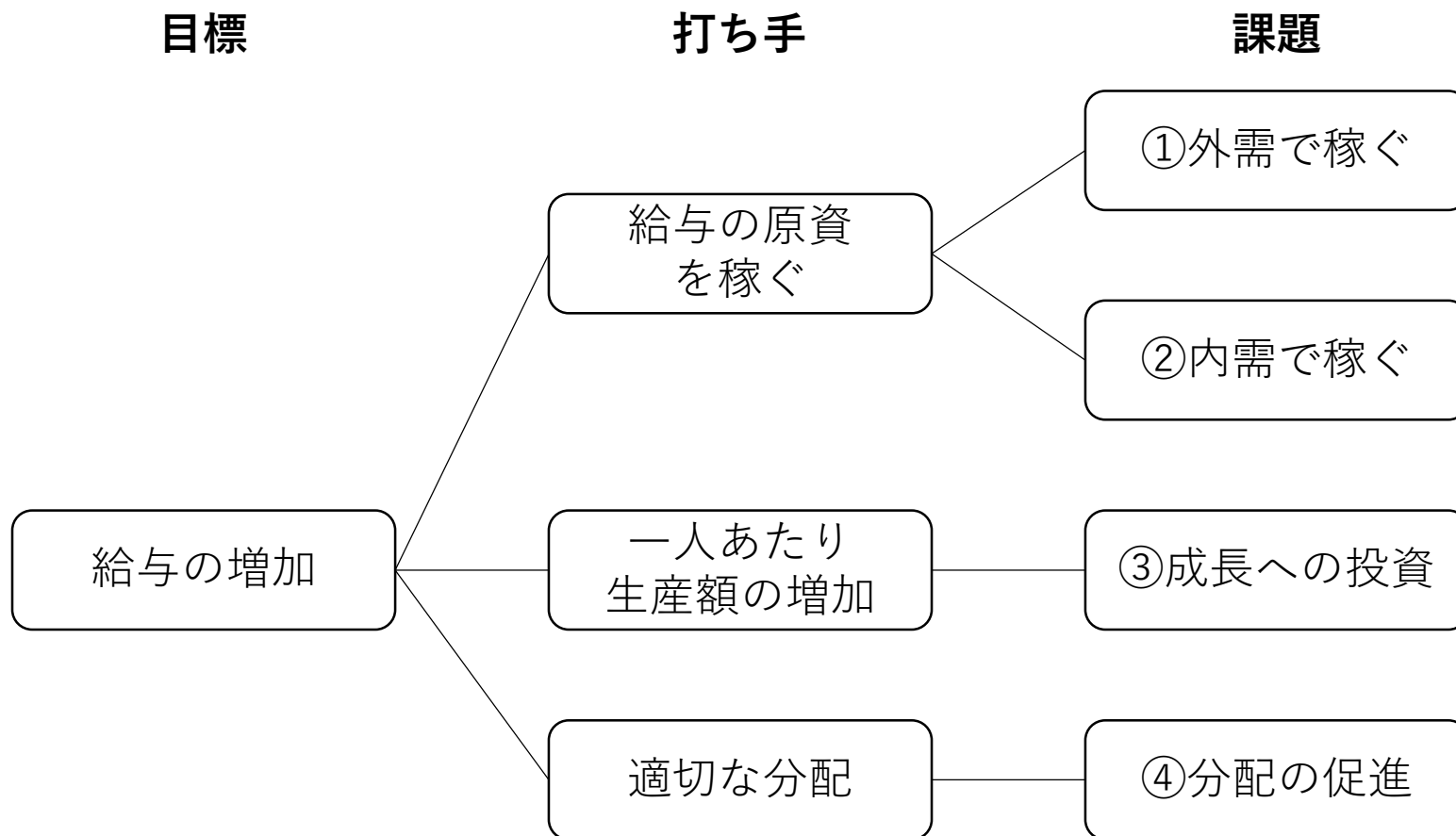


今年度の議論の テーマとフレーム

1 「稼ぐ力」で示された目標と打ち手、課題

- 令和3年12月に取りまとめられた「稼ぐ力に関する万国津梁会議」提言では、県民の「給与の増加」を最終目標とした打ち手と課題を以下のように整理。



2 「稼ぐ力」で示された方策と本会議で扱う議題

- 課題①～④に対する方策として以下が示されている。
- このうち、特に観光分野に関わりの深い方策として「観光需要の年間平準化」「経済循環の促進」が挙げられている。
- 本会議ではこの2つをメインテーマとし、今年度は「観光需要の年間平準化」を扱う。

「稼ぐ力に関する万国津梁会議」提言における課題と方策

- ① 外需で稼ぐ
 - 観光需要の年間平準化による稼ぐ力の強化 ★今年度
 - 県外・海外とのビジネス機能の強化
 - 稼ぐための「作る力」の強化
- ② 内需で稼ぐ（地域経済循環）
 - 観光を基軸とした経済循環の促進等 ☆次年度
- ③ 成長への投資
 - 雇用者への適切な所得分配による企業の成長
 - 稼ぐ力を備えた人材の確保・育成
 - IT化やDX等、成長のための投資の推進
 - 企業の成長への投資促進
- ④ 分配の促進
 - 認証制度の創設
 - 共感を広げる取組

稼ぐ力に関する
万国津梁会議
提言

令和3年12月
稼ぐ力に関する万国津梁会議委員会

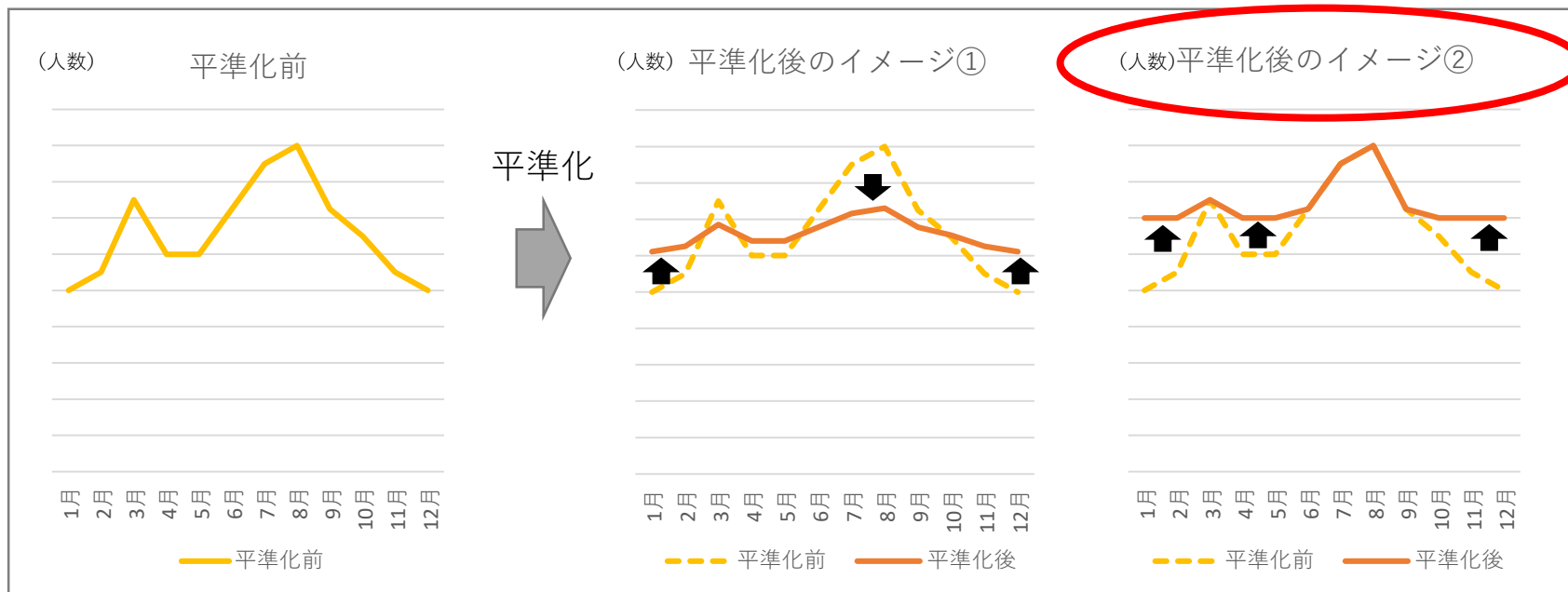
3 本会議で扱う「平準化」の定義とイメージ

- 本会議においては、観光における需要が年間で変動する現象を「季節性」とし、「季節性」をならすことを「平準化」と定義する。
- 平準化は、ピーク期の需要減もしくはオフ期の需要増によって成される

用語の整理

| | |
|-----|--------------------|
| 季節性 | 観光における需要が年間で変動する現象 |
| 平準化 | 季節性をならすこと |

平準化のイメージ



4 観光需要の年間平準化による効果

- 労働生産性の向上や年間を通じた収益の安定化に寄与することで、ひいては県民の給与の増加につながる可能性がある。

観光需要の年間平準化による稼ぐ力の強化

- 観光関連産業のオフシーズンの需要の落ち込みは、労働生産性の低下を招くため、新たな観光資源を強化するなど、観光需要の年間平準化を進めることが最優先である。
- 入込数重視の目標を単価を含めた需要の年間平準化に変えていく必要がある。
 - ①文化観光の推進
 - ②食の魅力強化やエンターテイメント等の強化・育成
 - ③世界自然遺産等を活用するなど、エコツーリズムの強化
 - ④単価等に着目し、売上から利益重視への転換

「稼ぐ力に関する万国津梁会議」提言より

- そのほか、年間平準化は季節性による様々なデメリットの解消につながる可能性がある。

| | | |
|--------------------|------------------------------|--------------------------|
| 供給側 | 事業者の財務 | 投資への悪影響（収益の不安定性によるリスク上昇） |
| | | ハイシーズンの仕入れ価格高騰 |
| | | 資金繰り |
| | | ハイシーズンのみで賄わなければならない年間固定費 |
| | | 高い採用コスト（毎期発生するため） |
| | 施設・インフラ | 資源の利用効率の悪さ |
| | | ハイシーズンのインフラ、交通機関への過大な負荷 |
| | 雇用 | 短期的な雇用のデメリット |
| | | ・スキルや経験の蓄積につながらない |
| | | ・教育機会やキャリア構築機会がない |
| ・低いサービスレベルと顧客満足度低下 | | |
| 環境と安全 | ・労働者の低いモチベーション | |
| | オーバーユースによる環境汚染、混雑によるテロのリスク | |
| 経済 | サプライチェーン、関連産業形成の阻害 | |
| | 事業者間協力の阻害（季節性が地域内での競争を激化させる） | |
| 需要側 | ハイシーズンの料金高騰 | |
| | 宿泊施設の不足 | |
| | 混雑によるサービス品質と満足度の低下 | |
| | 混雑による治安悪化 | |

5 沖縄県による「平準化」に関する取り組み

- 第5次、第6次の観光振興基本計画において「平準化」を定め施策を展開。

第5次沖縄県観光振興基本計画改定版（平成24年5月策定）

「季節変動の平準化」（IV 施策の展開 3(3)ウ）

観光事業者の安定経営と観光従事者の安定的な職場環境確保のため、**観光客受入における季節変動の平準化を図る。**

第6次沖縄県観光振興基本計画（令和4年7月策定）

第4章 基本方向

4 計画の目標値（KGI）／OUTCOMES

(2) 経済の視点

～沖縄でしか体験できない魅力あるコンテンツの造成やターゲットを明確にしたプロモーションを仕掛けることで、適切な時期に適切な客層を適切な価格で誘客することにより、ボトム期の観光消費額の向上及び**観光需要の平準化が図られた状態**となっている。

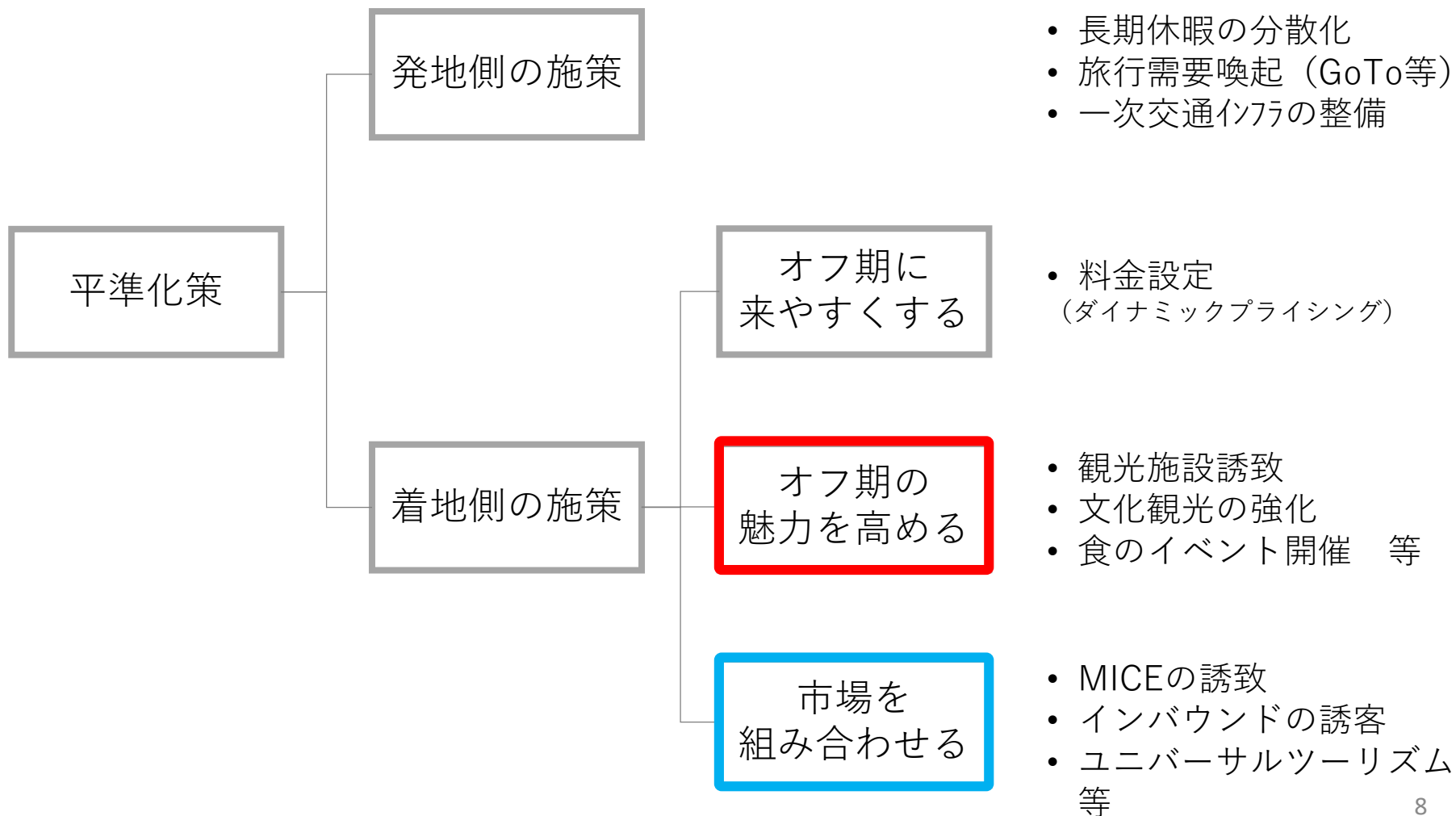
5 施策の基本方向

(3) 沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進

～沖縄が持つ独自の自然環境、文化・伝統・芸能、空手・スポーツ、健康・長寿等のソフトパワーを生かした付加価値の高いツーリズムを展開し、経済効果の検証を図りながら必要に応じて民間活力も活用しつつ体験価値の向上を図り、**観光需要の平準化につなげる。**

6 平準化策の整理

- 平準化策を以下のように整理。このうち、着地側で実施可能かつ議論が必要な施策（太枠）を議題としたい。



7 オフ期の魅力を高める事例の整理

- ・ 沖縄県のオフ期の魅力を高めるための「魅力」と「体験方法」を下図に整理
- ・ 自然観光から都市型観光の魅力まで幅広く網羅。
- ・ その上で参考となる国内外の事例と、沖縄県の事例を資料3に整理

| 魅力 | | 体験方法 | | 魅力 | | 体験方法 | |
|-------|------------|--------|---------|----------|-------------|--------|--|
| 自然 | 植物・花 | 鑑賞・ツアー | | 食 | 食事（料理） | | |
| | 野生動物 | | | | 食事（酒・飲料） | | |
| | 星空・ダークナイト | | | | ツアー | | |
| | 自然現象 | | | | イベント | | |
| | その他 | | | | 施設 | 市場・屋台 | |
| | | | 動物園 | | | 博物館・工場 | |
| | | 施設 | 水族館 | | その他 | | |
| | | | 植物園 | スポーツ | スポーツ大会 | | |
| | | | 宿泊施設 | | プロスポーツ | チーム・試合 | |
| 文化・歴史 | イベント | | | | キャンプ | | |
| | 舞台鑑賞 | | | ルート | サイクリングロード | | |
| | ルート | | | | トレイル | | |
| | 城跡・遺跡 | | | | ゴルフ場 | | |
| | 施設 | | | 施設 | アーバンスポーツ | | |
| | | | 分散型宿泊施設 | ショッピング | イベント・セール | | |
| | | 宿泊施設 | 歴史的建造物 | | ストリート | | |
| 芸術・音楽 | 音楽祭 | | | | 市場 | | |
| | 芸術祭 | | | 観光施設 | 施設 | | |
| | 映画祭 | | | | 遊園地・テーマパーク | | |
| | イベント | | | ナイト | 花火 | | |
| | 舞台鑑賞 | | | | イルミネーション・夜景 | | |
| | 美術館 | | | | 繁華街 | | |
| 工芸 | 陶磁器・漆器・ガラス | | | リラクゼーション | マッサージ | | |
| | 織物・染物 | | | | スパ | | |
| | その他 | | | 気候 | 避寒 | | |
| | | | | | 避粉（花粉） | 9 | |

8 オフ期の魅力を高める施策の事例

- 行政によるハワイ文化の継承支援や、民間による文化観光の魅力を高める取り組み

行政の取組

ハワイ文化プログラムの支援

- 2025年に向けた観光戦略では、戦略の方向性のひとつとして、「ハワイ文化・コミュニティ支援」を明記。
- そのための施策の一つとして、ハワイ州観光局では、ハワイ文化を継承する組織やプロジェクトを金銭的に支援する「Kūkulu Ola: Living Hawaiian Culture プログラム」を開始。
- 2022年は、ハワイ文化の継承に貢献する32の組織・プロジェクトに対して約150万ドルの資金を提供。

支援例：

ローカルコミュニティの教育施設が開催する文化伝承イベント「カプウオラ フラ フェスティバル」



画像引用：Kapu'uola Hula Festival Facebook ページ

民間の取組

ホテルのハワイ文化責任者ポジション

- ホテルにおけるハワイ文化の責任者。
- 主に以下の職務を持ち、ホテルゲストへの本物のハワイ文化の提供に寄与。
 - ▶ 体験プログラムやイベントの監修、開発
 - ▶ ネイティブコミュニティや外部関係者との関係性構築・協働
 - ▶ 文化的プロモーションの監修・アドバイス
 - ▶ 従業員の文化面での教育、トレーニングプログラム監修、開発
- 近年こうしたポジションを設けるホテルが増加

カアナハリビーチホテル・プロモーション動画



画像引用：ハワイ州観光局公式ポータルサイト記事

9 オフ期の魅力を高める沖縄県の取組①

- 文化、スポーツなどオフ期の魅力を高めるための様々な施策を展開

文化観光

- 平成23年度に沖縄県文化観光戦略を策定。
- マグネットコンテンツとなる、沖縄文化・伝統を取り入れた舞台公演づくりやプロモーション、「沖縄観光ガイド」等の情報発信を推進。
- 県主催の舞台観光プロジェクト「Ship of the Ryukyu」(下図)「沖縄芸能DAYS」を開催し、琉球舞踊やエイサー、ミュージカル、空手ショー、新喜劇などを公



沖縄燦燦 -おきなわさんさん-

公演は終了しました

愛を歌え!生きる喜びを唄(つづ)れ
恋する二人を巡る沖縄版ミュージカル。命の讃歌!

恋に落ちればれる男女と、2人を変えようとする人々の誓いを描いた心温まる物語。琉球舞踊をベースにした傑作で繊細な演技と、時にダイナミックな踊りに、艶やかな伝統衣装も見どころ。パイオリン・三浦・バーカッションなどの生演奏も必見です。

公演日 2019年2月13日(水)～17日(日)
※公演時間は公演日により異なります。

チケット料金 一般:2,500円、高校生以下:2,000円
※定価(税込) ※半額券は要り際上販売無料

[詳細を見る >](#) [チケット購入 >](#)

画像引用 : <http://www.magnetcontents.net/>

スポーツ・ツーリズム

- 沖縄県スポーツ推進計画(第1期平成25年、第2期令和4年策定)において、スポーツツーリズム推進を明記。
- スポーツ大会や合宿を誘致、支援。
- 「スポーツアイランド沖縄」をコンセプトにプロモーションを展開。
- プロ野球キャンプ関連のプロモーションや情報発信、ブランド化。
- スポーツイベントに係るモデル事業支援。
(下図:美ら島オキナワセンチュリーラン)



画像引用 : 沖縄県 平成25年度スポーツ・ツーリズム戦略推進事業実施報告書

9 オフ期の魅力を高める沖縄県の取組②

- 沖縄観光コンテンツ開発支援事業やフィルムツーリズム推進事業の実施

オフ期にも楽しめる観光コンテンツの開発

- 本県の豊かな自然環境、伝統文化、歴史等のソフトパワーを生かし多彩で付加価値の高いコンテンツ創出を図り、世界から選ばれる持続可能な観光地形成を目指す。
- コンテンツ開発に取り組む民間事業者等（観光関連事業者、観光協会、DMO等）を対象にハンズオン支援、アドバイザー派遣、セミナー開催、商談会開催等を実施。
- 新・沖縄21世紀ビジョンにおいて取組を推進している分野（ウェルネス、VR・AR等新たな技術を活用した観光コンテンツ等）のコンテンツを積極的に創出。
- 映画・TVドラマ等の映像コンテンツを通して沖縄の認知度、好意度、及び来訪意欲を高めるため、沖縄ロケを実施する映画・ドラマの誘致を行うとともに、スムーズなロケ撮影のためのワンストップサービスを提供し、沖縄ロケ映像をPRすることで、誘客を促進。



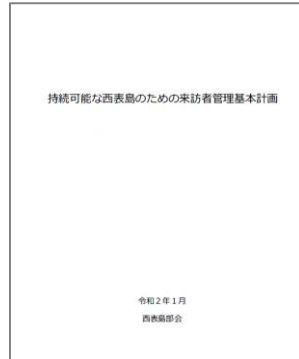
画像引用：Be.Okinawa

9 オフ期の魅力を高める沖縄県の取組③

- 世界自然遺産の魅力維持する地域の取り組み

持続可能な西表島のための 来訪者管理基本計画

- 世界自然遺産登録に際し「入域観光客数の急激な増加を抑え、環境・社会両面に生じる影響を最小限に抑える」ことを目的に、行政や民間による以下の取組を定めた。

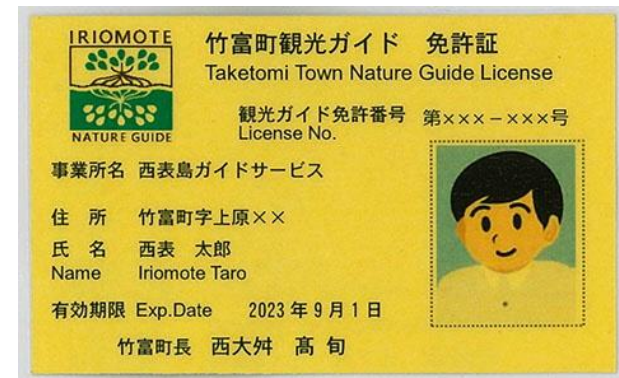


- ① 受入容量（入域観光客数）、観光形態（宿泊率・平均宿泊数）、住民生活への影響に関する基準値の設定とモニタリング。
- ② 入域観光客数急増の抑制と来訪時期の分散・平準化施策の実施。
- ③ 観光による影響軽減のための施設整備・管理。
- ④ 竹富町観光案内人条例の制定、施行。
- ⑤ 環境保全の中心組織として、ガイドの免許制度、立入規制、入域料等の管理・運用等を担う「西表財団」の設立。
- ⑥ 西表島エコツーリズム全体構想の策定。

など

竹富町観光案内人条例

- 西表島の自然環境を活用して観光案内をする「自然観光事業」（カヌーやトレッキングなどのツアー）のガイドに対し免許の取得を義務付ける制度。
- 免許を受けた観光案内人は、旅行者への必要事項の事前説明、ステッカーの掲示、案内した人数等の報告、ルールや救命技術に関する講習受講などが求められる。
- 2022年6月時点で100事業者以上が登録。



画像引用：竹富町観光協会 <https://painusima.com/taketomiguide/>

10 市場を組み合わせる沖縄県の取組①

- 季節別ターゲットの誘客やオフ期の魅力発信

オフ期のプロモーション

- 季節毎にターゲット（三世代、学生、女子、アクティブシニアなど）を定めた「旬香周島おきなわキャンペーン」を展開（2016～2017年度）。
- 冬季の割引クーポン「冬旅おきなわ旅行券」を発行し冬季旅行を促進（2016年度）。
- 日本テレビ「ヒルナンデス」にて「冬だからこそ楽しめる沖縄ツアー」特集を放映（2018年度）
- 沖縄観光情報WEBサイト「おきなわ物語」にて、季節別の特集記事を掲載（2018年度～）。
- 離島専門観光情報サイト「リトハク」や、交通広告、新聞、ラジオにて離島の季節ごとの魅力を発信（2019年度）。
- インバウンド向けには、季節毎にセミナー・商談会開催や旅行会社招聘等を実施。



旬の香りに出会う。旬の空気にふれる。沖縄×島巡り

旬香周島おきなわ



春: 三世代



夏: 学生



秋: 女子



冬: アクティブシニア

画像引用：おきなわ物語HP

**沖縄観光情報WEBサイト
おきなわ物語 記事**

12月の沖縄旅行、旬のおすすめ！

光り輝く、12月の沖縄。
本島のシーズンも一段落。
華やかなホリデーシーズン（ベント）に
染まる風景を眺めながら、
あつたりとした時間を楽しもう。



12月
December



12月の沖縄はサマージーズンとは異なる魅力があふれています。さまざまに工夫を凝らした観光施設やテーマパーク、盛夏時とは趣を変えたマリナクティビティなど、ゆっくり沖縄観光を楽しむにはピッタリ。夜になると、街中が華やかなイルミネーションに彩られ、行き交う人々を笑顔にしてくれます。1年の終わりは、のんびりと想い思いの南国時間を過ごしませんか。

画像引用：おきなわ物語HP

**離島専門観光情報サイト
リトハク 記事**

ちょっと欲張りな冬の波照間島旅！
日本最南端で食と幻の泡盛、
そして幻想的な星空に出会う！



画像引用：OKINAWAリトハクHP

10 市場を組み合わせる沖縄県の取組②

• 教育旅行やワーケーションの推進

教育旅行

- 国内外の教育旅行需要を長期的かつ安定的に確保するため、沖縄修学旅行プロモーションを実施。
- 学校に対する事前・事後学習支援や沖縄修学旅行模擬体験を提供。
- 海外教育旅行誘致活動の実施。
- 平和ガイドや民泊事業者向けに課題解決のためのアドバイザー派遣を実施。
- 従来の平和学習に加え、民泊体験や自然体験なども増加。



画像引用：おきなわ修学旅行ナビHP

ワーケーションの推進

- 県外企業の総務・人事担当者等向けに、沖縄ワーケーションを促進するセミナーを開催。
- 県外企業関係者やメディア等を対象とし、沖縄でのワーケーションに関する招聘ツアーを実施。
- 令和2年度に沖縄ワーケーションのモデルプランを作成し、適宜改訂。
- 県内宿泊施設のワーケーション宿泊客の受入状況調査を実施。



画像引用：令和3年度沖縄ワーケーション促進事業報告書

10 市場を組み合わせる沖縄県の取組③

- SDGsに適応したMICE振興や誰もが楽しめる観光を推進

MICE

- 2017年度からの10年計画「沖縄MICE振興戦略」を策定しMICEを誘致・支援。
- 産学官による推進体制（沖縄MICEネットワーク）を構築。
- マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画を策定し、デジタル技術の活用やサステナブルに配慮した整備を推進。
- ユニークベニューでのMICEパーティ開催。

(画像は首里城公園MICEパーティ)



画像引用：おきなわMICEナビ

誰もが楽しめる観光の推進

- 平成19年の沖縄観光バリアフリー宣言以降、高齢者や障がい者、LGBTQの方、ムスリム（ハラール対応）など“誰もが楽しめる、やさしい観光地”を目指して取り組みを継続。
- 沖縄バリアフリーツアーセンター開設。
- モデルコース設定や情報発信、プロモーション展開。



画像引用：観光バリアフリーポータルサイト

11 今年度の議論のテーマとフレームまとめ

観光の年間平準化に資する様々な施策のうち、行政で実施するべき部分（フレーム）について議論し、提言を行う。

- ・ オフ期の魅力を高めるための施策
- ・ 市場を組み合わせるための施策 など

【参考】新・沖縄21世紀ビジョン実施計画及び 第6次沖縄県観光振興基本計画の目標値

新・沖縄21世紀ビジョン実施計画（令和4年9月策定）

〈基本施策〉

3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革

| | | |
|-----------|------------|---------|
| 主要指標：観光収入 | 基準値（R元年度） | 7,047億円 |
| | 目標値（R6年度） | 7,616億円 |
| | 目標値（R9年度） | 9,678億円 |
| | 目標値（R13年度） | 1.2兆円 |

〈主な施策〉

ウ-① 沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進

| | | |
|-------------|------------|-------|
| 成果指標：平均滞在日数 | 基準値（R元年度） | 3.70日 |
| | 目標値（R6年度） | 4.21日 |
| | 目標値（R9年度） | 4.71日 |
| | 目標値（R13年度） | 5.39日 |

第6次沖縄県観光振興基本計画（令和4年7月策定）

〈計画の目標値 / OUTCOMES〉

・経済の視点

観光収入 1.2兆円 / 人泊数（延宿泊者数） 4,200万人

観光事業者（正社員・正規職員）20代の平均年収 280万円

観光事業者における役職者（部長級・課長級・係長級）の平均年収 448万円

【参考】令和4年度実施事業一覧（抜粋）①

| No. | R4予算事業名 | 担当課 | R4予算額 | 事業内容 |
|-----|------------------|-------|---------|---|
| 1 | おきなわ観光バリアフリー推進事業 | 観光振興課 | 18,770 | 沖縄を訪れる高齢者、障がい者等の受入体制の充実を図るため、観光事業者向けセミナーの開催や、観光誘客に向け、バリアフリー観光地としての認知度を高めるための経費 |
| 2 | 国内需要安定化事業 | 観光振興課 | 351,722 | 国内観光客の安定的かつ継続的な確保を図るため、直行便就航地を中心とした航空会社等との連携をより強化し、効果的な観光プロモーション活動を展開する。 また、各種プロモーションの展開、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」の周知、及び国内富裕層向けプロモーションを行う。 |
| 3 | 沖縄ワーケーション促進事業 | 観光振興課 | 60,226 | 国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図るため、県外企業等向けに「新しい生活様式」を踏まえた沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う。 |
| 4 | 外国人観光客受入体制強化事業 | 観光振興課 | 19,962 | 県民に対するインバウンド受入機運高揚のための取組や、インバウンド受入ツールの制作、多様化する食文化への対応促進、インバウンドビジネスの高付加価値化等を通し、県内におけるインバウンド受入体制の整備・強化を図る。 |
| 5 | マリンレジャー魅力向上事業 | 観光振興課 | 8,152 | 沖縄県のマリンレジャーに関する課題や観光客のニーズ等に関して整理を行い、マリンレジャー事業者に対し、観光客に提供する価値の高付加価値化と持続可能な観光に寄与する意識啓発を行う。 また、海の美しさや安全だけでなく、レスポンシブルツーリズムの観点も取り入れた観光客向けのプロモーションを行う。 |

【参考】令和4年度実施事業一覧（抜粋）②

| No. | R4予算事業名 | 担当課 | R4予算額 | 事業内容 |
|-----|--------------------|-------|---------|--|
| 6 | フィルムツーリズム推進事業 | 観光振興課 | 63,847 | 映画・TVドラマ等の映像コンテンツを通して沖縄の認知度、好意度、及び来訪意欲を高めるため、沖縄ロケを実施する映画・ドラマの誘致を行うとともに、スムーズなロケ撮影のためのワンストップサービスを提供する。また、沖縄ロケ映像をPRすることで、沖縄への誘客を促進する。 |
| 7 | 教育旅行推進強化事業 | 観光振興課 | 78,393 | 国内外の教育旅行需要を長期的かつ安定的に確保するために必要な誘致活動と受入体制の整備に取り組む。 |
| 8 | 離島観光活性化促進事業 | 観光振興課 | 124,263 | 離島への観光客誘致を促進するため、離島へのチャーター便支援、離島観光プロモーション、離島観光基盤強化（主要離島地域の観光協会が主体となった地域プロモーション）等を実施する。 |
| 9 | 沖縄観光コンテンツ開発支援事業 | 観光振興課 | 121,187 | 沖縄の観光資源を活用した観光コンテンツ開発に要する経費を一部補助することにより、沖縄の観光が抱える課題、一人当たり消費額の向上、平均滞在日数の延伸を図る。 |
| 10 | 戦略的クルーズ観光推進事業 | 観光振興課 | 37,000 | 質の高いクルーズ観光を推進するため、展示会への出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、地域の受入体制強化等を通して、付加価値の高いクルーズの寄港の寄港、周遊・発着クルーズを戦略的に誘致し、地域経済波及効果の向上を図る。 |
| 11 | カップルアニバーサリーツーリズム事業 | 観光振興課 | 39,500 | カップルアニバーサリー（リゾートウェディング等）を推進し、記念日で訪れる特別な場所としてのイメージ定着を図るため、国内外へのプロモーション、ブランディング、情報発信、受入体制の強化等を行う。 |

【参考】令和4年度実施事業一覧（抜粋）③

| No. | R4予算事業名 | 担当課 | R4予算額 | 事業内容 |
|-----|----------------------|---------|---------|--|
| 12 | 沖縄観光グローバル事業 | 観光振興課 | 333,912 | 国際観光地としての沖縄の基礎的需要の創出を図るため、航空路線の誘致・拡充やBe.Okinawaブランドイメージの浸透、東アジアや欧米豪露市場等での各種戦略的なプロモーションを実施する。 |
| 13 | 戦略的MICE誘致促進事業 | MICE推進課 | 207,215 | 国内外からの新たなMICE需要を取り込み、市場の拡大を図るため、MICEの誘致・広報活動、開催支援、受入体制整備、人材育成等を実施する。 |
| 14 | 観光誘致対策事業（MICE推進課） | MICE推進課 | 16,103 | 国内外のMICE誘致・開催支援等を実施する |
| 15 | 万国津梁館管理運営費 | MICE推進課 | 29,916 | 万国津梁館の管理運営（指定管理料） |
| 16 | 万国津梁館保全修繕事業費 | MICE推進課 | 42,188 | 万国津梁館に係る修繕料、借地料、共有地管理負担金等 |
| 17 | 沖縄コンベンションセンター保全修繕事業費 | MICE推進課 | 11,447 | 沖縄コンベンションセンターの保全修繕を実施する |
| 18 | マリンタウンMICEエリア形成事業 | MICE推進課 | 38,238 | 既存施設では対応できない大型MICEの誘致を促進するため、多目的ホールや展示場、中小会議室を備えた全天候型施設及びエリア全体でMICEを受け入れる周辺環境の整備を実施する。 |
| 19 | 県有MICE施設長寿命化事業 | MICE推進課 | 144,672 | MICE等の誘致促進を図るため、沖縄コンベンションセンター及び万国津梁館の設備について計画的な改修を実施する |
| 20 | 観光地形成促進地域推進事業 | MICE推進課 | 5,378 | 観光地形成促進地域制度の活用を促進するため、観光施設や集客施設の整備を行う企業等に対して制度周知を行うほか、マリンタウンMICEエリア地域周辺等への宿泊施設、商業施設の誘致を促進する。 |

【参考】令和4年度実施事業一覧（抜粋）④

| No. | R4予算事業名 | 担当課 | R4予算額 | 事業内容 |
|-----|---------------------------|-------|--------|---|
| 21 | 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業 | 文化振興課 | 29,545 | 国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演を支援する。 沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立し、観光誘客を図る。 |
| 22 | 地域の文化芸術振興事業 | 文化振興課 | 11,129 | 離島・北部地域での文化芸術公演及び県外・海外へ沖縄の芸能を発信する公演を実施する。 |
| 23 | 沖縄県文化振興事業等推進費 | 文化振興課 | 53,126 | (公財) 沖縄県文化振興会に対する事業費補助 |
| 24 | 公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業 | 文化振興課 | 32,286 | 沖縄県立芸術大学への交付金を交付し、大学における教育研究活動を推進する。 |
| 25 | 博物館・美術館費 | 文化振興課 | 83,852 | 沖縄県立博物館・美術館において資料収集、資料保存管理、県主催展覧会の開催、調査研究、教育普及活動の企画、施設の維持管理等に関する業務に取り組む。 |
| 26 | 沖縄食文化保存普及継承事業 | 文化振興課 | 21,250 | 琉球料理を基盤とする「沖縄の伝統的な食文化」を保存するため担い手を育成し、同時に、医食同源の理念等に基づいて形成されてきた過程や魅力等を県民や観光客へ情報発信し、保存・普及・継承に向けた取組を推進する。 |
| 27 | 沖縄文化芸術の創造発信支援事業 | 文化振興課 | 81,683 | 文化芸術活動の持続的発展に資する取組を行う県内文化芸術団体等への支援に要する経費 |

【参考】令和4年度実施事業一覧（抜粋）⑤

| No. | R4予算事業名 | 担当課 | R4予算額 | 事業内容 |
|-----|-----------------------------|---------|---------|---|
| 28 | 琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業 | 文化振興課 | 40,000 | 琉球の歴史文化資源を題材にするコンテンツ創出に関する取組を公募選定し支援を行うとともに、文化の産業化等に関する公演会等を開催 |
| 29 | 琉球文化日本遺産事業 | 文化振興課 | 1,400 | 県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等を発信する。 |
| 30 | スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業 | スポーツ振興課 | 65,669 | 沖縄の温暖な気候とスポーツ資源を活用した新たな観光メニューであるスポーツツーリズムの普及・定着を図り、スポーツを通じた観光誘客を推進する各取組を実施する。 |
| 31 | スポーツツーリズム戦略推進事業 | スポーツ振興課 | 261,624 | スポーツアイランド沖縄の形成を推進するため、各種産業の連携による、沖縄におけるスポーツの付加価値構築に向けた実証を支援することで、更なるスポーツコンベンションの推進等を図るとともに、スポーツ関連産業における新たなビジネスモデル（産業）の創出を促進する。 |
| 32 | スポーツアイランド沖縄推進費 | スポーツ振興課 | 27,135 | スポーツコンベンションの推進に要する経費 |
| 33 | 沖縄県空手振興事業 | 空手振興課 | 122,023 | 沖縄空手を振興するため策定した「沖縄空手振興ビジョン」及び「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」に基づいた施策を展開する。 具体的には、(1)第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップの策定(2)空手関係イベントの開催(3)指導者派遣(4)空手案内センターの運営(5)沖縄空手の普及・啓発等を展開する。 |
| 34 | 沖縄空手世界大会開催事業 | 空手振興課 | 53,614 | 沖縄空手の将来にわたる振興・発展や、世界中の空手愛好家の交流促進を目的として、空手世界大会を開催する。なお、大会は4年ごとの定期開催とし、大会開催1年前から事務局体制を構築し、大会開催に向けた準備を行う。 |